

お客様が PowerStore ストレージを選択する主な理由



Dell EMC PowerStore は、俊敏性、運用汎用性において新たなレベルに到達、今日のクラウド モバイル IT インフラストラクチャを実現します。コンテナ化したソフトウェア アーキテクチャ、最高クラスの高パフォーマンス ストレージ テクノロジーで、パフォーマンス、拡張性、ストレージ効率の典型的なトレードオフを排除します。VMware の ESXi ハイパーバイザーの高度な機能を組み込むことにより、アプライアンス上で直接ユーザーのアプリケーションを仮想ホストするだけでなく、IT 管理環境や VMware エコシステムへのシームレスな統合で仮想化を可能にすることでこれまでにない柔軟性を提供します。

1 | ソフトウェアデファインド アーキテクチャ

PowerStoreアプライアンスは、高度なシステム機能を提供し、統合することを目的とした独自の機能を提供するコンテナベースのソフトウェア アーキテクチャを基盤として構築されています。コンテナのモジュール性は、新たな機能のポータビリティ、標準化、短期間での商品化を実現し、導入に最大限の柔軟性をもたらします。PowerStore向けに開発された新しいモジュールに加えて、AppSync、SRM、Data Protection Suiteを含むDell EMCのクロスプラットフォーム ソリューション ポートフォリオが提供する実証済みのアプリケーションと機能は、PowerStoreの操作環境に直接統合できます。

2 | AppsONによる卓越した俊敏性

PowerStoreのソフトウェアデファインド アーキテクチャをオンボードVMware ESXiに統合することで、エンタープライズ ストレージの統合を新たなレベルに押し上げます。ローカルのオンレイ アプリケーション環境のメリットと、vSphere管理環境とサーバーリソースの他にはない統合のメリットをどちらも享受できます。AppsON機能のメリットとしては、アプリケーション導入の優れた俊敏性に加え、PowerStoreアプライアンスとVMware ESXiサーバー間のシームレスな移動、さらにはサーバーとネットワークのフットプリントをなくすことでスタックの縮小が可能になるため空間効率の高いエッジやリモート導入を実現します。

3 | インテリジェントな自動化

PowerStoreは、アプリケーション開発を合理化し、主要なDevOpsの広範なエコシステムとオープンな管理フレームワークの統合によりストレージ ワークフローを自動化します。さらに、vSphereストレージ管理とプロビジョニング、VAAI、VASA、ネイティブのVVolsサポートなど、VMware管理とその運用機能の包括的な統合をサポートします。急激に開発が進んでいるコンテナ化とDevOpsの分野では、PowerStoreユーザーは、CSI、Kubernetes、Ansible、およびvRealize Operations用などのプラグインを利用できます。

Dell EMC PowerStore ストレージを選ぶ主な理由

4 | 自律型オペレーション

PowerStoreは、インテリジェントなデータ配置によって、アプライアンスのストレージ ボリュームを追加する際にバランスの取れたプロビジョニングを行い、システムの使用率とパフォーマンスを向上させます。一方で、機械学習エンジンによってクラスターを継続的に監視して、クラスター リソースを再バランシングするアクションを提案するとともに、最適な効率性の維持に必要な変更を特定し自動化します。

5 | 次世代のストレージ テクノロジー

PowerStoreは、ストレージ、インターフェイス、ネットワーク テクノロジーの最新の開発成果を活用できるように基礎から設計されています。PowerStoreアプライアンスのオールNVMeアーキテクチャは、ソリッドステート ストレージのすべてのメリットに加え、フラッシュSSDの要件を満たす高帯域幅と低レイテンシーを備え、優れたパフォーマンスを実現する新しいデュアルポートのインテルOptaneストレージ クラス メモリー (SCM) を搭載しています。PowerStoreの高可用性アクティブ/アクティブ設計は、ブロック、ファイル、VVolsを単一のシステムでネイティブにサポートし、優れた一貫性のあるストレージ効率が得られます。これは、高度な重複排除と圧縮などのインテリジェントな常時稼働のデータ削減によって実現され、インテルQuickAssistテクノロジーを利用したハードウェア アクセラレーションによりパフォーマンスも大幅に向上します。

6 | クラウドの利便性を高める

PowerStoreのお客様は、運用の整合性を維持しながら、オンプレミスのインフラストラクチャをハイブリッド クラウド ソリューション環境に簡単に統合できます。一方、VMwareのお客様には、VMware Cloud on AWSがオンプレミスのvSphere環境をAWS Cloudに拡張し、VCF導入のためのPowerStoreブロックおよびファイル サービスを提供することにより、シームレスなハイブリッド クラウドを実現します。vSphereを介してPowerStoreのAppsON機能を使用することで、ユーザーは、PowerStoreとAWSの間で要件に基づいてアプリケーションとデータを簡単に移行することができ、管理ツールを追加しなくてもシンプルで一貫した運用を実現できます。

7 | スケール アップとスケール アウトによる柔軟な拡張

高度なクラスタリング テクノロジーにより、PowerStoreはシステム処理能力を最大4台のアプライアンスに拡張できます。また、個々のドライブの拡張によって、容量増大とリソース バランシングに柔軟に対応できます。ストレージの拡張性を確保するためのこのバランスの取れたアプローチは、コスト効率の高いスケールアップが可能であるというミッドレンジ ストレージの従来の強みと、アプリケーションのニーズの拡大と進化に伴ってパフォーマンスを拡張する能力を両立させます。また、インテリジェントリソース バランシングにより、PowerStoreはストレージとワークロードのバランスを自動的に調整して、システム ユーティリティを最大化することができます。

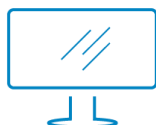
8 | 予測分析とプロアクティブな監視

CloudIQは、PowerStoreアプライアンスに無償で含まれるネイティブのクラウドベース ストレージ分析アプリケーションです。このアプリケーションにより、システムの正常性、パフォーマンス、容量、構成、オンレイの保護メトリックを包括的に監視できます。これらのメトリックを機械学習と予測分析の測定値と組み合わせ、キャパシティ プランニングを強化し、ビジネスが中断される前に問題を解決します。CloudIQがアレイごとに包括的かつプロアクティブな正常性スコアを作成することにより、各PowerStoreアプライアンスは最大限の可用性を確保して業務データを運用するための最適な基盤を提供できます。

9 | 将来を見据えたAnytime Upgrade

Dellは、4:1のデータ削減保証や、業界で最も柔軟なコントローラー アップグレード プログラム¹である**Anytime Upgrade**など、将来を見据えたプログラムにより、すべてのDell EMC PowerStoreシステムを支えます。Anytime Upgradeは、次世代のアプライアンス、次世代以上のモデル、または最初のシステムと同等の2番目のシステムを備えた既存の環境のスケールアウトにデータインプレース アップグレードを提供します。PowerStoreノードは、既存のドライブと拡張エンクロージャを維持しながら、無停止で交換することができます。新しいライセンスや追加の購入は必要ありません。PowerStoreを使用すると、大掛かりなアップグレードを必要とせず、ダウンタイムもアプリケーションへの影響もなく、インフラストラクチャをモダナイズすることができます。詳細については、Future Proof Loyalty Programのページを参照してください。

1: 一般に公開されているデータを使用して、コントローラー アップグレードを提供する最も可用性の高いプログラム/サブスクリプション サービスを比較した2020年4月のDellの分析に基づきます。Anytime Upgrade StandardまたはSelectオプションの購入と、購入時に最低3年間のProSupportまたはProSupport Plus契約が必要です。アップグレード資格は、請求書発行から180日後に有効になります。



Dell EMC PowerStore
ソリューションの[詳細情報](#)



Dell EMC エキスパートに
[問い合わせる](#)